

1 到達目標

e-sports 大会やコミュニティ大会に出場することを目指し、ゲームや大会動画を鑑賞する。チームを結成し、協力し合い、競い合いながら目的に沿ったプレイをする。それらの活動を通じてゲームスキル+コミュニケーション能力を向上させる。

活動を通して、①チーム内で、互いにコミュニケーションを取って協力し合う。②目標を設定し、見通しを持って課題に取り組める。③友だちが困っている時に、適切な言葉かけができる。という3つのスキルを身に着けることを目標とする。

《ゲームの基本操作をマスターし、チームで協力しながらプレイする。》

キーボードとマウス、あるいはコントローラーによる操作の基本を覚える。各々に合ったキー設定を施し、練習用ステージや実戦などを通して操作に慣れていく。

チームプレイにあたっては、ゲームを楽しみながら互いに関わり合うことを心掛ける。チームメイトの行動を誉め、困った時には励ましや助言を与えるような習慣を身に着けることを目指す。各人の能力に応じて課題を与えるが、「～しなければならない」という義務感を抱かせず、あくまで「ゲームを楽しむ」という感覚を優先する。

2 学習計画

プログラム内容	月	プログラムのねらい	前期目標
各ゲームの説明 プログラム時のルール確認 大会動画の鑑賞 ゲームに触れる	10	各ゲームプレイにおいて暴言等は「口にしない」を理解する。 YouTube で e-sports 大会を鑑賞し、大会のイメージを湧かせ児童の未来像を作る。 自身が「なりたい。」や「なってみたい」、理想のプロゲーマーを知る事でモチベーション向上に繋げる。 プロゲーマーになりたい気持ちも大事だがゲームを楽しむことからスタートする。	ゲームの基本操作に慣れ、プレイを楽しむことができるようになる。 自分の指を見なくても、どのキーを押しているか把握できるようになる。 仲間と協力しながらチームプレイができる。
フォートナイト編 目標を決める 操作練習（基本） キー設定ボタン操作 実戦（メンバーでバトルロイヤルやゼロビルドをする）	10	PC 操作が初めての子やフォートナイトをこれから始める人にも合わせたキーボードやコントローラー操作に目標を作り、「その子に合わせて課題を設ける。」前進→後進→左→右の基本動作 etc. 初めは指を見ながらでもいいので、どのキーやボタンが何を表しているのかを把握する。慣れてきたら自分に合った設定やプロゲーマーを参考にカスタマイズする。その時にただキー配置を真似するのではなく、「そのキー配置にした理由まで知る」	
バトルロイヤルとゼロビルドの違いの確認	10	バトルロイヤルとゼロビルドの違いを知る まず大きな違いとしてはゼロビルドには建築操作がないので遮蔽物を作成できないので、マップごとの強いポジション(高所や遮蔽物が多いまたサークルがずれた際に次のサークルまでアプローチしやすい場所)を考える	

プログラム内容	月	プログラムのねらい	前期目標
バトルロイヤルで適正な降下する位置を学ぶ	11	<p>降下する場所を待機島中にマップを開きメンバーとどこが物資を集めやすい場所や敵チームが下りてくる可能性が低い場所かを話し合う</p> <p>この時漁りながら自分が今何を持っているか何を拾ったかまた、自身が使いたい武器や必要なアイテムをコミュニケーション取りながら効率的にファームを進めていく。</p> <p>自分達で分からない場合は実況者やプロゲーマーの解説動画を確認する</p> <p>イベントやアップデートによりメダリオンの数や能力が異なる為、こちらも解説動画を見て友達と一緒に考える。</p>	
操作練習 (エイム) 感度設定 実戦	11	<p>エイム (武器の照準を合わせる) 練習を行う。</p> <p>マウス、あるいはコントローラーのスティックを動かし、確実にターゲットを捉えられるようになる。</p> <p>感度設定方法についてはプロゲーマーの感度設定方法を調べて真似してやってみる</p> <p>その子に合わせて時間を決めてあげる</p> <p>少しずついいので続けることが大切。</p>	
操作練習 (建築) 建築の基本を学ぶ	11	<p>練習用ステージで、建築の仕方を学ぶ。</p> <p>初心者用動画を見ながら、目的の建築物を建てる。初めは指を見ながらでもいいので、どのキーが何を表しているのかを把握する。(壁・階段・床・屋根)</p> <p>また、建築編集を試して壁斜め下三角を作成しキャンセルで元に戻す練習をする。</p> <p>自分のキー設定で建築がやりづらい場合なら、設定変更を試してみる。</p> <p>建築の素材によって耐久力が異なることを知ろう。</p> <p>素材には木・レンガ・鉄の素材があり、木→レンガ→鉄の順番で耐久力が硬くなる</p>	
操作練習 (まとめ①) 実戦	12	<p>これまでに学んだことを踏まえ、実戦で活かすことができる。</p> <p>戦う時は必ず1回は建築を利用するなどの課題を設ける。</p> <p>チームプレイの際は、仲間をサポートすることを心掛ける。</p>	<p>移動する・拾う・撃つといった基本動作に加え、建築などを応用し効率良いプレイができるようになる。</p>

プログラム内容	月	プログラムのねらい	前期目標
操作練習（武器） 実戦 ライトハンドピーク練習	12	<p>武器について詳しく学ぶ。 練習用ステージで武器各種を使い、それぞれのメリット/デメリットを知る。 武器の種類には AR(アサルトライフル)メイン武器になることが多い。近距離から遠距離まで幅広く使い分けできる。また敵も使っている事が多い為倒す事で弾不足になりにくい。 SMG(サブマシンガン)主にサブ武器として使う。近距離で戦うと強い火力が出ることが特徴。敵も持っていることはあるがサブ武器には1発で超火力を出せるSGがある為弾が補充しづらくなる可能性があるため、注意が必要。 SG(ショットガン)サブ武器の中で唯一1発で超火力を出せる。また、使うプレイヤーも多い為弾の補充もしやすい。 これらの武器の種類を用いて場面に応じた使い分けも大事だが、自分が一番使いやすい武器やアイテムスロットの構成を考えること。 接敵中は敵に対して左側にキャラクターを置いて、なるべく体を出さずに撃つ意識をして戦う(体をなるべく出さずに撃ち合う事で敵側からも当てられづらいのと、被弾を少なくすることで別の敵が来た場合でも対応ができるようになる) ※上下の戦いも同様に考えられる。</p>	チームプレイにおいては、仲間をサポートすることを心掛け、仲間のために今の自分には何ができるかを考える。
操作練習（編集） 実戦 フリービルド 縦積み	12	<p>建築の基礎として(床→階段→壁)までは使えるように練習。 ↑が慣れてきたら YouTube 動画を参考に縦積みを練習する。 自分のキャラクターの前に壁→階段→上向いて壁→右向いて壁→下に壁→ジャンプして真下に床→階段の繰り返しを行う。 初めの頃はゆっくり動画を見ながら一つずつ丁寧に行っていく。</p>	
操作練習（まとめ②） 実戦 チーム同士で対決	12	<p>武器の選択、建築の利用、動き方の工夫など学んだことを総動員して、実戦を行う。 対決用ステージで、チーム同士で戦う。 対戦後、お互いのチームの良かったところ、改善点などを紙に書いて発表する。</p>	
実戦 ビクロイを狙おう！	1	<p>これまでの経験を活かし、ビクロイ（ビクトリーロイヤル、バトルロイヤルモードやゼロビルドで1位を取ることを）を目指す。 チームプレイでは、ビクロイを取った時も取れなかった時も前向きな言葉がけを意識する。</p>	<p>これまでに学んできたことを活かし、上位を目指す。 1位を取るなどという目標の他、この場面ではこれを使うといった中目標、キーを押す間違えないといった小目標も立てる。 チームプレイでは、仲間をサポートすることはもちろん、自分の役割（リードすべきか否かなど）も意識する。</p>
実戦 初心に戻ろう	2	<p>自分がどの程度の実力を身に付けているのかおさらいする。 苦手な所があるなら、それを中心に練習する。 チームメイトは、他の子の苦手な所をフォローする。</p>	

プログラム内容	月	プログラムのねらい	前期目標
コミュニティー大会に参加する。	2	大会に参加するに当たってルールやマナー、モラルを大会の動画や詳細を見て学び、プロのプレイヤーがどのようなプレイをしているかを確認し、雰囲気を掴む 地域で開催されているコミュニティー大会やオンライン大会に参加し、大会の雰囲気を感じる。	大会に出場してみても雰囲気を味わってみる。その後大会の振り返りを行う。
大会の振り返りをする。	3	大会に出場した時を思い出して、具体的にどんな所に善し悪しあるか振り返りをした後、仲間で話し合い明確に練習を進めていく。	
エジソン大会	3	各教室の子供達で大会を行い、競い合いながら楽しさを知りコミュニケーション能力の向上を図る	